

第3章 今後に向けて

1. 本園の取り組むべき課題

本園では、石川県内の幼小連携の実態及び課題から以下の点について、幼小の円滑な接続のために考えるべき課題と捉えた。

・互いの教育を知る機会の充実

小学校教育について知りたいと思っている幼保等教職員、幼児期の教育について知りたいと思っている小学校教職員が多い実態から、双方の職員が互いの教育について知ることができる機会、公開保育、公開授業の在り方や方法について考えていく必要がある。

・幼保における接続期の教育内容の見直し

小学校のスタート段階では、幼児期に培った力を十分に活かしていくことが難しい現状があることが分かった。その要因として、幼稚園教育要領や保育所保育指針等は小学校の学習指導要領のように具体的にどの学年で何を学ぶかが明確に示されておらず、その捉え方が多様で園によって学び方に差があるためであると考え。幼稚園教育要領・保育所保育指針等を再度捉え直し、幼保が義務教育及びその後の教育の基礎を培う場であるということを意識した保育内容の在り方、特に保幼小の接続期について考えていく必要がある。

・接続期のカリキュラムの編成

幼児期に培った力を活かした取り組みが行えるような、幼小接続期のカリキュラムの編成が必要である。

2. 研究計画

以上のように、本園では、**幼小教職員の互いの教育を知る機会の充実、幼保における接続期の保育内容の見直し、接続期のカリキュラムの編成**を円滑な幼小の接続のための課題と捉え、以下の研究計画から、幼児期の学びを活かした小学校教育の実施を目指すこととした。

【研究計画】

1年次（本年度）

石川県内の幼小連携の実態調査

石川県内の幼小連携の実態を明らかにするためにアンケート調査を行い、幼小連携に関する意識の差異や実施状況、互いの教育に関する意識や課題について探り、幼児期に培った力を小学校生活につなげるための連携の在り方や課題を考える。

2年次・3年次

1年次に明らかとなった課題から、幼児期に培っている力について、幼児が何をどのように学んでいるかについて明らかにしていく。その際、幼児が主体的に「ひと・もの・こと」とかかわりながら学んでいく姿から、幼児が学んでいるものや、それらを学んでいくプロセスについて具体的な事例をもとに明らかにしていく。（3歳児～小学校第1学年）

4年次

前年度までに明らかにした幼児期に培っている力を小学校接続期に円滑につなげていくための、接続期カリキュラム（試案）を作成する。

5年次

前年度に作成した幼小接続期のカリキュラム（試案）をもとに同附属小学校との実践を通して、成果や課題を明らかにする。

6年次

前年度に明らかとなった成果と課題を見直し、小学校接続期のカリキュラムを完成させる。

【引用・参考文献】

- 1) 石井明子：「幼稚園から小学校への滑らかな接続を目指して」
奈良県立教育研究所研究紀要 11巻 2004
- 2) 加藤美帆，高濱裕子，酒井朗，本山方子，天ヶ瀬正博：「幼稚園・保育所・小学校連携の課題とは何か」
お茶の水女子大学人文学研究 2011
- 3) 前掲書 2)
- 4) 文部科学省・厚生労働省：「保育所や幼稚園等と小学校における連携事例集」2009
- 5) 文部科学省，幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する調査研究協力者会議：「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）」2010
- 6) 酒井隆：「図解アンケート調査と統計解析が分かる本[新版]」日本能率協会マネジメントセンター 2012



資

料



小学校生活にスムーズに入れる

- ・スムーズに小学校生活を進められる
- ・幼保の生活が全く違うから
- ・小学校へ抵抗なく通えるため

幼児が小学校を知ることができる

- ・幼児が小学校の授業について知れる
- ・小学校の具体的な様子を知ることができる
- ・小学校がどのような場所なのかのわかり、入学後の見通しがある

小学校生活のイメージをもてる

- ・雰囲気や様子を知ることができる
- ・学習に対するイメージをもつことができる
- ・小学校生活に見通しをもって入学できる
- ・小学校の雰囲気を知ることができる

小学校の環境に慣れる

- ・新しい環境に早く慣れることができる
- ・交流したことのある小学生を知り、新しい環境への緊張が減る
- ・環境の変化に対応できる
- ・新しい環境に慣れることができる

幼児の就学への心情

小学校に期待感をもてる

- ・不安が解消し、楽しみに変わる
- ・小学校生活に希望をもてる
- ・小学校に対して期待感をもてる

就学への不安を軽減

- ・戸惑いが少なくなる
- ・子ども達の困り感がなくなる
- ・不安を解消できる
- ・緊張を軽減できる
- ・ストレスの軽減ができる

幼児が安心感をもてる

- ・子ども達の安心感や、心の安定につながる
- ・小学生とのかかわりを持つことで、就学後も安心感をもてる
- ・個々の個性に合わせてかかわってもらえるので、子どもの安心感につながる

就学への意欲をもてる

- ・小学生になるという意識をもてる
- ・小学生への憧れをもち、いろいろな面で意欲的になる

就学に向けて活動・指導に活かせる

園での活動に活かせる

- ・保育士が就学前にしておかなければならないことが分かる
- ・園が就学に当たっての心構えや、準備することがわかり、保育に取り入れられる
- ・就学までの保育カリキュラムの参考になる

小学校側が就学へ向けて準備できる

- ・勉強の進め方を考えることができる
- ・小学校側が幼児を受け入れる準備ができる
- ・環境の変化に慣れない子への対応を考えられる
- ・個々を知ってもらうことで、スムーズに小学校でのクラス運営ができる
- ・個を知ってもらい、受け入れ態勢を整えてもらえる

小学校での指導の活かせる

- ・小学校の先生が子どもや保護者への対応の仕方を考えられる
- ・子どもが苦手なところを見つけやすく、援助方法が分かる
- ・個々の育った背景が分かることで、就学後の援助がしやすくなる

幼小の教育の相互理解ができる

- ・教員の子どもへのかかわり方や教育に対する考え方の共通理解を図るため
- ・幼小教員双方が子どもの発達の理解ができる
- ・職員同士が幼児期の教育と小学校教育について理解し合い、よりよい教育環境を提供できる
- ・保育内容について知らせることができる
- ・個々の情報を共通理解できる

意味がない

- ・小学校はこのようなところだと分かるくらいで、意味がない
- ・連携の視点が定まらず、意味がない

その他

- ・子どもの育ちを連続して見守っている
- ・育ちの連続性を考えると必要
- ・発達の連続性を踏まえて必要
- ・育ちの連続性のため
- ・幼児期の学びを小学校へつなげるため

連続性

- ・要録などの個々の記録を見てもらっているだろうか
- ・幼保の情報を小学校がどの程度把握し、活用しているかわからない
- ・連携した結果を知ることができない
- ・連携した場合としない場合の変化を知りたい
- ・幼保のカリキュラムを知り、小学校へつなげてほしい

連携への疑問・要望

- ・年に3回ほどあった方が効果的
- ・楽しいばかりの行事では、小学校について違う印象を与えてしまうので、連携の仕方を考える必要はある
- ・学習以外の面で、小学校と続けていけるように取り組むことが必要

連携の仕方

- ・保護者が安心できる
- ・保護者も安心感をもてる

保護者が安心できる

- ・幼保双方が忙しく、連携の十分な時間を取れていない
- ・時間がないのですることが難しい

時間が取れない

職員が幼小の教育の理解ができる

幼児期の教育を理解できる

- ・小学校教員が幼児教育を知る機会になるため
- ・幼児期に取り組んでいることを知ることができる

小学校での教育を理解できる

- ・小学校での取り組みを幼保に見てもらえる
- ・小学校の学習の意図を知ってもらえる
- ・小学校での教育を知ってもらえる

幼小の教育の相互理解ができる

- ・幼小のこれからの役割が分かり指導に活かせる
- ・幼小相互理解ができる
- ・幼小の相互理解に有効
- ・幼小相互の要望を知ることができる
- ・幼小の教育について相互理解できる

小学生が上級生としての自覚をもてる

- ・1年生自身が年上児としての自覚を高める
- ・年上児が新入児を歓迎、期待できる
- ・小学生は相手意識をもった活動ができる

小学校生活にスムーズに入れる

- ・小学校を知ることで、入学時の段差を解消できる
- ・学校生活にスムーズに入ることができる
- ・小学校に無理なく接続するために
- ・学習に向けての心構えの育成に役立つ
- ・スムーズに小学校生活を始める
- ・小学校生活にスムーズに入れる

小学校の環境に慣れる

- ・新しい環境に慣れることができる
- ・小学校に早く慣れることができる
- ・小学校の生活が分かり、小学校に慣れることが重要
- ・環境の変化に対応できるようにするため
- ・幼児が小学校に早期に慣れるため

幼児の就学への心情

小学校に期待感をもてる

- ・期待感をもてる
- ・就学を楽しみにできる
- ・期待する気持ちをもてる

幼児が安心感をもてる

- ・小学校に安心感をもつため
- ・小学校への信頼感をもつため

就学への不安を軽減

- ・不安を取り除く
- ・戸惑いを減らす
- ・緊張を和らげる

就学への意欲をもてる

- ・就学への意欲を向上させるため
- ・就学への意識をもてる
- ・1年生になるという気持ちを実感できる

意味がない

- ・迎える会をしても就学時に役立つものとは別
- ・児童にとっては関係ない

幼児理解ができる

幼児について知ることができる

- ・幼児や児童理解につながる
- ・幼児期の体の成長を知ることができる
- ・幼児期の心の成長を知ることができる
- ・個々の様子を事前に知るため
- ・どのようなことを学んできたか分かる
- ・今までの友達とのかかわりが分かる

個別に支援が必要な子への対応ができる

- ・個別に支援が必要な子について知ることができる
- ・個への対応の仕方を知ることができる
- ・個別に支援が必要な子についての対処法を知ることができる
- ・配慮が必要な子の現状を知ることができる
- ・配慮が必要な子について継続した対応ができる

保護者について知ることができる

- ・家庭の事情について知ることができる
- ・保護者について知ることができる
- ・家庭の問題を把握できる

個への対応について分かる

- ・個への配慮事項が分かる
- ・個への指導の方法が分かる
- ・個々の幼児について引継ぎができる
- ・個の問題を把握できる
- ・就学後の個へのかかわり方のプラスになる

就学に向けて活動・指導に活かせる

園での活動に活かせる

- ・幼稚園でも就学に向けて取り組みができる
- ・幼稚園のうちに、小学校生活に必要な体験を取り組める
- ・小学校で求められることを知るため
- ・小学校の取り組みを知ってもらい、園での指導に活かしてもらえる
- ・園で小学校生活を意識した活動を取り入れられる

情報交換ができる

- ・情報交換ができるから
- ・幼小の情報共有できる

小学校側が就学へ向けて準備できる

- ・学級編成に役立つ
- ・小学校側の受け入れをスムーズにする
- ・小学校側が就学までに準備ができる
- ・幼児期の教育について知り、小学校が準備や支援体制を整えられる
- ・教師が見通しをもてる

小1プロブレム、ギャップへの対応

- ・小1プロブレムに対応するため
- ・小1ギャップを乗り越えるため
- ・環境の変化によるギャップがあるため

小学校での指導の活かせる

- ・就学後の指導に活かせる
- ・保育士の指導がわかる
- ・就学後の指導に活かすことができる
- ・幼児の出来ることとできないことが分かり指導に活かせる
- ・幼児期の教育の内容を知り、学校での対応に活かせる
- ・幼児の情報が就学後役立つため
- ・就学後に効果的な対応ができる

その他

- ・基本的な生活習慣を身に付けるため
- ・就学前の教育が就学後に必要であるから
- ・新入児が同じ体験をできる
- ・小学生に慣れをもつことができる
- ・小学校と幼保での最低限のルールやマナーに差がある
- ・教師が安心感をもてる
- ・事前の情報交換で、情報がほとんどない
- ・職員の意識を高める必要がある
- ・カリキュラムをつくっていく必要がある
- ・準備が大変なので回数は考える必要がある

連続性

- ・中学校まで連続して成長を見ていくために必要
- ・幼小の教育はつながっている為

幼児同士のかかわり

- ・子ども同士のつながりが生まれる
- ・子ども同士のかかわりを身に付けるため
- ・就学後の人間関係を円滑につくる機会となる

小学生とつながりをもつため

- ・幼児と児童と接することができる
- ・就学後に6年生との活動を意欲的にできる
- ・新2年生との縦のつながりをもてる

保護者が安心できる

- ・保護者に自立のために必要なことを知ってもらえる
- ・保護者が小学校に親しみをもてる
- ・保護者の不安を軽減できる

プラスイメージ

関心 意欲 態度

生活習慣

小学校への期待

1年生になる喜びと期待
これからの成長への期待
学校へのあこがれや期待
学校への期待、楽しみ
学習への興味関心が高まっている
兄弟と登校するのがうれしい
就学に対する期待
進学する喜び
卒園する嬉しさをもっている
小学校に意欲や喜び、期待をもっている
小学校に希望や夢をもっている
小学校に行くことを楽しみにしている
小学校へのあこがれをもっている
入学がうれしい

自信をもっている

自信をもち大きく成長している
自信をもって行動する
自信をもって小学校へ行く
やる気をもっている(前向き)
大きくなった喜び
堂々としている
年長児として自信をもっている
保育園生活への満足感

成長した

がんばった
心身ともに成長した
立派
大きくなってきた
いきいきしている
凛々しい

夢

希望と意欲
期待や夢をもつ
将来の夢を描いている

希望

希望と意欲、夢

意欲

意欲をもって活動に取り組める
意欲的にチャレンジする
なんでもやってみようとする
積極的に取り組もうとする
活動が好き
援助されながら見守られながら最後までやりきる
好奇心

その他

落ち着いている

自分のことは自分でする

自分でできることがふえている
自分のことを自分でしようとする
自分でできることは自分でする
自分のことはほぼ自分でできる
自立して生活することができる
身の回りのことができる(食事、排せつ、着脱)
生活習慣の自立

基本的生活習慣

基本的生活習慣が身についている
生活リズムを整える(起床、食事、排便)
生活リズムが身についている

挨拶

挨拶ができる
返事ができる
行儀、言動がしっかりしてきた
大きな声で名前を言える

生活リズム

生活リズムが身についている

人とのかかわり

自分の思いを伝え、相手の話を聞くことができる
自分の意見を伝えたり相手の気持ちを感じたりできる
友達と思いを出し合いながら遊びや活動を進める
友達と仲間意識がある
集団で過ごす楽しさを感じられる
自分達で解決できる
自分達で友達と関わる事ができる
人間関係などにも自信ができた

友達関係

相手のことを考え、行動ができる
相手を思いやる心をもつ
相手の気持ちを考えられる
友達や大人の思いや気持ちをわかろうとする
友達を大切に

協力する

共同できる
友達と力を合わせ活動する
友達と協力して何かをやろうとする
友達と協力して楽しめる

思いやり

集団生活

集団行動がとれるようになった
まわりをよく見る
場に合う行動ができる
物事の善悪を判断できる
集団でルールが守れる
約束やルールを守り、最後まで活動に取り組む
小学生より立派に自分の役割(当番)をする

規律 ルール

園のリーダー

園のリーダーとして行事に参加できる
園のリーダーとしていろいろなことができる
年長児としての自信
年上児としてはりきって活動する
年下にやさしくできる
年下児を思いやる心
年下児の手本
年下児のお世話をし頼られる存在

聞くこと

きちんと話を聞こうとする
人の話をしっかり聞く
一定時間座って話が聞ける
話を聞く時間が長くなっている
最後まで話が聞ける
教師の話が理解できる
先生や友達の話を静かに聞こうとする

座ること

座って話を聞く
一定時間座って話が聞ける

自分で判断し行動する

相手の話を聞き理解して行動できる
自分で行動する
自分で考えて取り組む
自分のことは自分で判断して行動できる
見通しをもって活動できる
自覚や責任がもてる

表現すること

思ったことや考えたことを表現する(言葉、絵など)
自分の思いや気持ちを言葉で伝えられる
自分の意見を言ったり受け入れられたりできる
コミュニケーションがとれる
自己主張できる
困ったことを大人に伝える
できることを自信をもって発表する

その他

大人が不安になり子どもが影響をうける
新しい集団生活への区切り
元気に体を動かして遊んだり、体育の授業にいどんだりする
通学路を歩ききる
感情が入る
かわいい
わからない

マイナスイメージ

小学校への不安

小学校への不安
1年生になる不安
入学への不安
新しい環境への不安
就学への不安、緊張、プレッシャー
修了・卒園する寂しさ、不安感
不安を抱えている
はずかしい

幼い

幼い(話を聞く理解できていない)
あまり実感がない(子もいる)
まだ甘えたい

意欲

意欲的に取り組めない

落ち着いていない

授業中立たずにいられるか不安な子もいる

基本的生活習慣

忘れ物、片付けに時間がかかる子も

自分のことは自分で

生活面で手助けが必要な子もいる

規律

集団での約束がまだ未熟

聞くこと

一定時間話を聞けるが聞けない子もいる

座ること

座って話を聞けるか心配

教師の不安

小学校の生活(時間)になじめないのでは
小学校で困らないか
学校生活を楽しんだり学習しているか

年上から年下へ

小学校で年少組のようになってしまう
年上児から一番小さい年齢になる
園では最年長、小学校では最年少

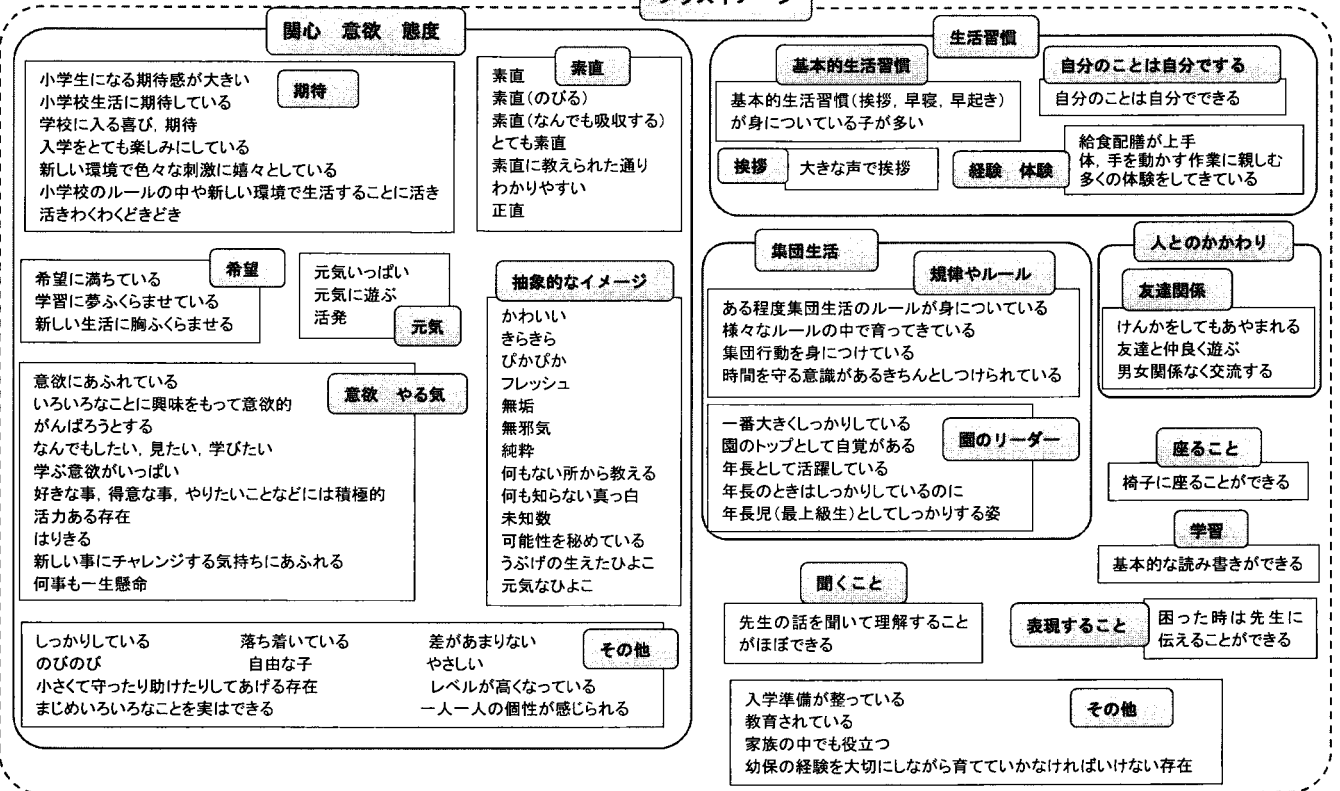
自分で判断し行動する

自分で考えて行動できない

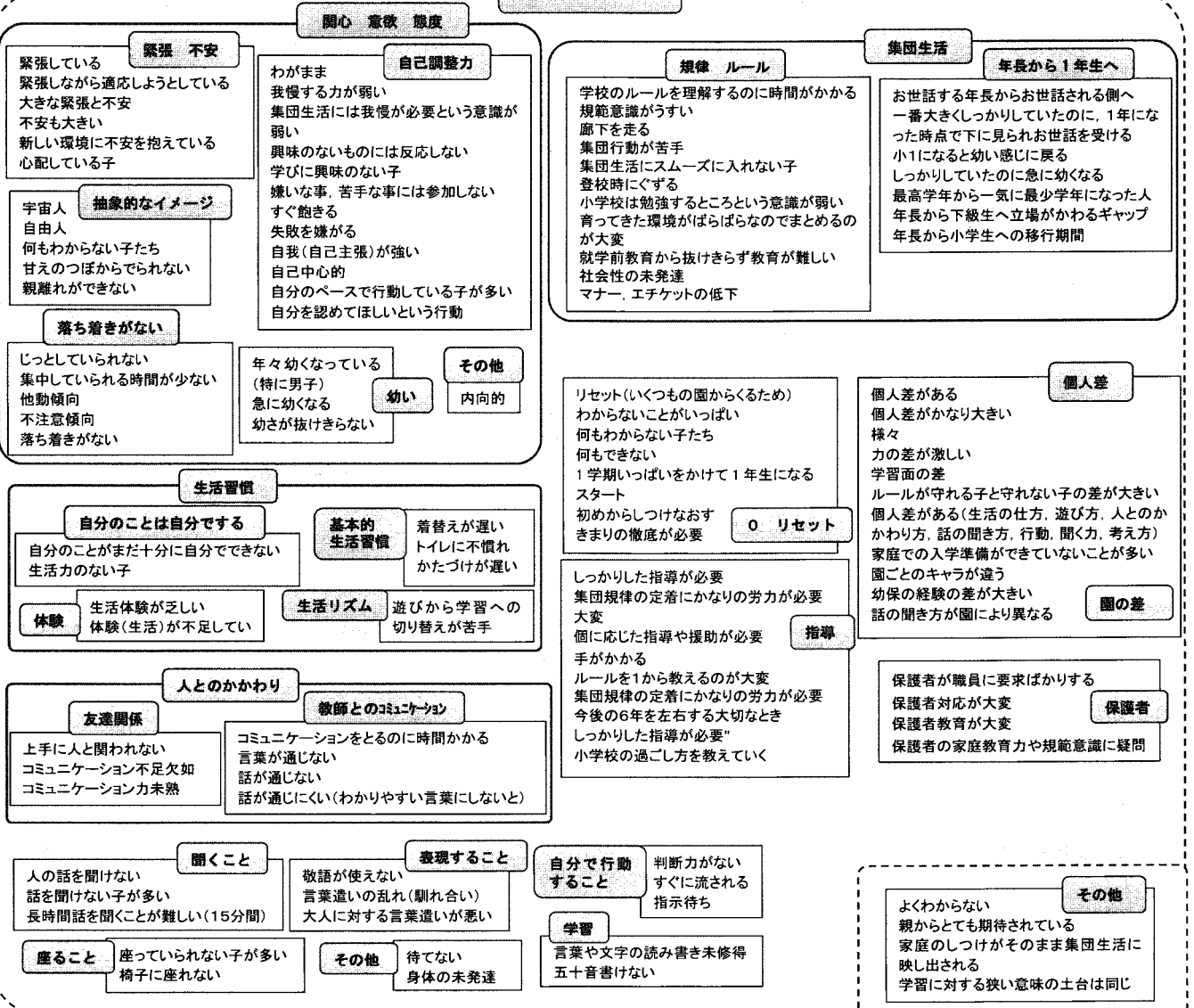
その他

まだ教師の援助を必要とする
気持ちが不安定

プラスイメージ



マイナスイメージ



資料5 3-(7-2) (幼) 具体的にどのようなことがありましたか。お書きください
(貴園の年長児の進学先で、小1プロブレムが生じていると聞いたことはありますか)

関心意欲態度

自己調整力

自分の感情がコントロールできないときがある
ちょっとした失敗でも大泣きする
甘えたい
自分の意見、思いを聞いてほしく騒ぐ

集中力

45分間集中がもたない
授業中落ち着きがない
授業を受けられない態度
注意散漫
クラスのムードが騒然としている
授業中寝る
静かにしてられない
姿勢を維持して座ってられない

登校しぶり

不登校
集団行動がとれず、そのうち不登校になってしまった
担任の理解不足から、段々学校が楽しくなくなり、年長時の担任に楽しくないという手紙を書いてもってきた
担任との意思疎通がうまくいかず、登校を渋る(保護者から相談を受け、学校と懇談した)
泣いて登校を嫌がる
不安からクラスになじめなかった(園で加配を受けていた子ども)
「家に帰りたくなった」と途中で帰ろうとした

学級崩壊

学級崩壊が起きた

生活習慣

食事・給食

給食を残す

挨拶・返事

個人名を呼ばないと返事ができない

忘れ物

持ち物の忘れ物がよくある子がいる

トイレ

トイレ(和式含む)

基本的生活習慣

生活習慣が自立していない
生活面で困り感がある
朝起きられない、朝からぼーっとしている

子どもや保護者への関わり・対応

教師との信頼関係
担任の個々の児童の捉え方と援助の仕方が幼児教育と違う所
保育園の職員の話しぶりと、小学校の先生の話し方とは相当違う

幼小の違い

登校

寄り道が多く、学校(家)に到着しない
毎日きちんと登校できない
登校時間に間に合わず保護者が送る
集団登校ができない
登下校が不安である

生活の違い(環境の変化)

一人で行っていたこともしなくなった(トイレ等)
行事でのつまずき
体育授業になれていない
複数担任保育園から大勢の中に入りとまどう
できていたことができなくなる
今までがんばってできていたことなどが、甘えによって崩れてしまう
赤ちゃん扱いから、授業中も集中できず注意散漫
新しい環境へのストレスや疲れ

体力

階段の昇降が苦手
体力がなくて姿勢保持できない

学習に関する事

理解力

学習内容についていけない
学習能力の問題
学ぶ意識や見通しがない

文字・数字

字が読めない
文字の書き順の間違ひ

集団生活・集団行動

人との関わり方

集団にすぐに入れず、戸惑う
友達がうまく作れない
友達関係のトラブル
トラブルで、入学後しばらく毎日保護者に電話連絡
けんかが始まる
いじめにもつながるような言動
暴言を吐く

椅子に座っていること

授業中ずっと座ってられない
立ち歩き、走り回る
授業中にトイレに行く
廊下に出ていってしまう

集団行動

集団行動に問題
集団行動がとれない、勝手な行動、協調性に欠ける
始業時間になっても教室に帰ってこない
並べない

マナー、ルール

マナーやルール(登下校、集団生活)
我が強く、自己をアピールし、全体の活動を妨げる

話を聞くこと

45分間、話を聞けない
話を聞かず、授業にならない
授業中に静かに話が聞けない
授業中担任の話を聞かず、勝手なことを話す
先生に対してふざけたことを言い、授業が落ち着かない
授業を聞いている子に話しかけてくる

特別支援が必要な児童への対応

障害の疑いのある子が何人もいたため、座ってられず教室から出たり、ケガばかりしていた
グレーゾーンの子ども達(着席行動、話だけでは理解に欠ける)
小1で個別に指導を受けると、保護者からもよく聞く
個にあった対応ができておらず、発達支援センターが仲立ち役をしてくれうまいった(障害のある子への対応)
学級担任の他にサポートする方が必要
1クラスで3名以上補助を要する子がいると担任だけでは難しい
隣の友達にいたずらをする子を注意すると授業が思うように進まない

その他

先生を先生と思えない
親が注意せず、学校のせいにする。
生活が流れない
落ち着きがない子やけがをするのは同じ子
子どもが自己責任の元で遊びに集中できる環境から、一方的な先生主導型に変わり少し窮屈で集中出来ない子がいた

資料6 3-(7-2) (小) ご自身の小学校では、具体的にどのようなことがありますか。お書きください
(ご自身の小学校で、小1プロブレムが生じていると感じることはありますか)

話を聞くこと(姿勢・態度・聞く力)

話をしっかり聞けない
教師や友だちの話を聞かない
人の顔を見て話を聞かない
話を静かに最後まで聞くことが苦手
教師の話(注意)を聞かない。叱られても平然としている(一部の子ですが)
聞く力の不足による不適応な行動
基本的なこと(しっかり話を聞くなど)ができない子(親)が増えてきている
指示が1度で通らない
会話が通じにくい
聞くことの大切さ

椅子に座っていること

45分間座ってられない
落ち着いて座ってられない
授業中座ってられない
授業中立ち歩く
以前の小1と違ってイスに座れない子がとても多い
落ち着いてイスに座っていることが難しい子どもが増えてきている
長い間ひとつのことに取り組めない(座ってられない)教室からの飛び出し
みんなと同じように学習ができない(離席、教室からエスケープ)
姿勢保持できない

学習に関する事

学習進度についていけない
学校で学習することになかなか慣れない
学習を受けることに困難を感じているお子さん
読み書きが十分で学習に難がある児童
ひらがなを読ませようと思ったのが年長の2月だという保護者。
小1の夏休みにがんばってくれましたが学習面では先取りでしている子としていない子の差が激しすぎる

特別支援が必要な児童への対応

支援員さんが入らないと大変な子がふえていると感じます
個別に支援が必要な子がいる(座っている事が長い時間難しいなど)

集団生活・集団行動

集団行動

集団行動(生活)ができない
一斉授業になじめない
皆と同じことができない子がいる
集団参加できない児童が出る
集団生活、身についていますか?
集団の活動に合わせられず、単独行動を取る(いじり、泣く、わがまま)
教師の指示を聞かず、好き勝手な行動をとる
みんなで一緒にという感覚の少なさ
1クラスの数が多く、担任の一斉指示を聞きとれないので行動が遅れる
自分の思いのままに行動してしまう子
周囲に適応できない子がいる

マナー、ルール

授業規律や規範意識に乏しいこと
学習規律
厳しく指導しないと、学習規律が守れない
学習ルールがなかなか定着しない
集団生活のルールで戸惑っている姿を見かける
集団の(社会性)規律等に馴染めない子
学校生活のルールがなかなか身につかない子
集団生活を送るうえでのルールが守れない子、規範意識の弱い子が個人行動をする
学校のルール、マナーを守れない
廊下を走って叱られてもやめない
廊下を走ることがいけないということを知らない1年生が何人かいた。生活のきまりの違いを感じた

母子分離

母子分離ができていない
親から離れられない
登校する時に、母親から離れられない
入学時から「ママに会いたい」と毎日泣く
両親に会いたいと泣く
家に帰りたく泣く
休み明け、特にGW明けに「ママに会いたい」と言う子が何人か出る

人との関わり

人との関わり方
他とうまく関われない児童が増えている
友達との関わりをうまく持てない
友達関係が築けない
自己主張が強く、他を認めることができない子が増えている
人との接し方が難しい子
友だちとのかかわりがうまくいかず、手が出る。自制心が育っていない
他の子の安全をおびやかすような行動をとる
暴言、暴力

関心意欲態度

自己調整力

嫌なことが我慢できず、怒りをおさえられない
何かあるとすぐに泣いてしまう
自分のやりたいことが我慢できない
学校のきまりを苦痛に感じて暴れる
未体験のことをいちいち不安に思う子
自分の好きなことはするが、苦手なこときらいなことはしない
自分の思い通りにならないと、腹を立てて活動しなくなる
「やりたくない」と意欲面の低下
ぼくが(私が)話の中心でないと嫌。何とかして先生をふりかえらそうとする
先生の独占

集中力

45分の学習は長すぎる
1時間(45分間)の授業に集中できない
集中力が持続せず、落ち着いて学習に臨めない
落ち着いて話が聞けるようになるまで時間がかかる
机に向かっていられる時間が短すぎる子もいる
私語、不注意傾向の子が多い
5限の授業までの長さにたえられない

登校しづり

登校をしづる
登校をぐずる子
年度当初の登校しづり

体力

登下校や5限までの学習参加への体力不足

表現すること

言葉使い(目上の人)

生活習慣

食事・給食

給食が食べれない(好き嫌い多い)
給食を苦痛に感じる子
給食での行動
偏食傾向の児童が多い
給食の時間に好ききらいから、食べて吐くという子が少しいた
給食の量

忘れ物

宿題や提出物など忘れ物が多い

トイレ

トイレが上手にできない
和式便器で用を足せない

家庭の問題

家庭での子どもへのかかわり方に大きく温度差がうかがえる
母子間の関係が、児童の周囲との関係づくりに悪影響
家庭の協力が差がある
家庭の協力が得られにくい場合
学校生活に適應できない子(適應するための家庭での教育が期待できない子)が、以前に比べ増えている。その二極化も深刻
公教育に対する期待度の大きさとまどいが保護者に大きくある

持ち物等の始末・準備

身の回りの片づけが一人ではできない
持ち物の管理
身のまわりのことが一人ではできないことが多い子が増えた

基本的な生活習慣

基本的な生活習慣ができていない
基本的な生活習慣の確立が極端に低く、周囲との一致を図れない
基本的な生活習慣ができていない

挨拶・返事

返事
返事あいさつ

その他

特に保護者や児童が自立できない点
休み時間に何をしたらよいかかわからない(授業との区別)
子どもの育ちの差
年々幼くなっている

幼小の違い

登校

長い距離を歩いて登校すること
通学は徒歩となる
大きな集団や環境に慣れるまでに、泣いて登校してくる
登校時に泣きじゃくて玄関に入ろうとしない
学校までの送迎等、保護者の過保護
登校時に泣く、友だちと登校できない(母親とは登校できる)
一人で(集団登校ではあるが)歩いて登校できない子
生活リズムができていないために登校が遅れがち

チャイムで行動

45分間の授業と休み時間というチャイムで動く日課に順応できない
学校のチャイムのある生活に慣れない
チャイムで行動する習慣がないため、休み時間が授業かの判断がつきにくい
チャイムで行動することに抵抗がある子
時間を守る生活、行動に順応できていない
小学校の生活、学習リズムに適應できない
学校のリズムにのりきれない
時間に合わせて行動すること

生活の違い(環境の変化)

学校生活になじめない。学習の構え、基礎となる構えの体制のちがいが新しい環境に適應できない
生活動作経験の差が入学時で大きい上、入学後のカリキュラムが多く、対応できない子が多い
新しい環境で友だちがなかなかつくれず不安になる
一人だけ別の幼稚園から来た子が、友だちを作れるまで慣れるのに大変
他の幼稚園や保育園から来た子となじめない
ズックをすぐぬいでしまう
年長児の経験が生かされていない

甘え、赤ちゃん返り

年長さんとしてしっかりやってきているが、1年生になると甘えてしまう子
上級生に必要以上の世話をされ、赤ちゃん返りをしてしまうことがある
1年生が赤ちゃん返りすることが少し気になり

資料7 3-(8-2) (幼) 具体的にどのようなことがありますか。お書きください
 (貴園を卒園した1年生が、学習や生活上、自信をもって取り組めることはありますか)

学習に関すること

音楽に関すること

鼓笛隊
 ピアニカ
 音楽
 和太鼓
 リズム感
 姿勢良く気持ちよく歌を歌う

考える
 好きな授業がある
 学習に向き合う姿勢
 授業に対する態度
 製作の経験から授業になじみやすい
 絵本の読み聞かせから集中できる
 集中力
 授業態度

文字・数字

文字に触れる
 数にかかわる
 文字を読み書き
 ドリルによる事前学習
 名前の読み書き
 国語や算数などの授業
 たし算、ひき算
 ひらがなカタカナが読める
 数字に触れる
 習字

体を動かすこと

運動面は得意
 なわとび
 水泳
 運動
 運動能力
 運動会
 外で活発に活動する
 体操教室
 運動あそび
 体力
 一輪車
 とびこ
 大縄とび
 走る力

英語活動

英語あそび
 英語教室

絵画・造形

絵画等の表現
 造形
 手先が器用

自然とのかかわり

自然の中でのびのびと生活する
 自然と生き物に興味をもつ
 五感を通して気づく
 自然体験から五感を通して豊かな心
 畑活動への関心
 畑の世話

表現すること

意見を発言する
 話す力
 相手の気持ちを考えて発言する
 相手の意見、自分の意見を考
 えて発言する
 意見をはっきり言う
 自分の思いを伝える
 自己表現する力
 困ったことを伝える
 人前で話す
 自信をもって発言する
 よく発言する

集団生活・集団行動

自己主張ばかりでなく相手の
 考えを聞いて行動する
 規則等を守る
 ルールのある遊び
 順番を待つ
 指示通りに行動する
 当番活動
 係活動
 自分の役割をしっかりとこなす

話を聞くこと
 (姿勢・態度・聞く力)

話を落ち着いて聞く
 話を聞く態度
 静かに座って話を聞く
 話を聞く
 話を最後まで聞く
 わからないことは聞く
 目を見て話を聞く
 先生の話を聞く
 前に誰かがいると静か
 に聴こうとする態度

自分で行動する

自主性
 自分で考えて行動する
 自律
 自分で気づき進んでする

生活習慣

自分のことは自分でする

自分のことは自分でする
 身の回りのことが一人でできる
 (着脱、排泄、睡眠、清潔、かたづけ、協力)
 身の回り
 のこと
 わからないことを自分で聞いて解決する

基本的な生活習慣

基本的な生活習慣
 生活習慣の自立

衣服の着脱

着脱

生活リズム

生活リズムが正しい
 生活の流れにそって生活できる

掃除

汚したところをふく
 掃除ができる
 掃除紋じりや拭き掃除

食事・給食

食事への意欲
 食事のマナー
 食事の用意
 よく食べる
 食育活動
 残さず食べる

返事

返事
 返事ができる

あいさつ

あいさつ
 大きな声であいさつ
 挨拶をしっかりとる
 あいさつができる

その他

礼儀

整理整頓・片付け

自分の所持品の片付け

関心・意欲・態度

集団活動への意欲
 意欲を持って取り組む
 積極的に取り組める
 意欲をもつ素直な気持ち
 少し難しいことにも挑戦する
 挑戦する気持ち
 興味をもつ心
 したいことを見つけて取り組む

心情

元気がある
 好奇心
 楽しんでいる
 創造性
 楽しく明るく過ごすこと
 想像力の豊かさ
 じっくりと遊びにに取り組む
 素直な生活で人懐っこい
 得意なところでその子らしく活躍
 明るく元気な子

集中力

集中して何事にも取り組む
 好きなことに集中して取り組める
 集中力がある
 集中して取り組む

やり遂げる

最後までがんばる
 あきらめずに頑張る
 見通しをもって達成する
 苦手なこともやればできる

自信・自己肯定感

自己肯定感
 自分を大切にできる
 好きなことに自信を持てる
 自信を持って取り組めることはある
 どんなことにも自信をもって取り組む
 何事にも自信をもって打ちこむ姿勢
 自信をもてるようにしている

自己調整力

我慢できる

人とかかわり

かかわり

友達と仲良く遊ぶ
 年下児とかかわり
 友達とかかわりが積極的
 自分達で友達を集めて遊べる
 相手の気持ちになって考える
 友達とのトラブルを解決しようとする
 友達とのつながり
 人間関係をうまく作る方法
 自分たちで話し合いをして決める
 コミュニケーション
 友達づくり
 友達を認め仲間として受け入れる
 新しい友達をつくれる

助ける

困っている子に声をかける

思いやり

困っている友達への思いやり
 友達への思いやり
 友達を大切にできる
 友達のことを考える

協力する

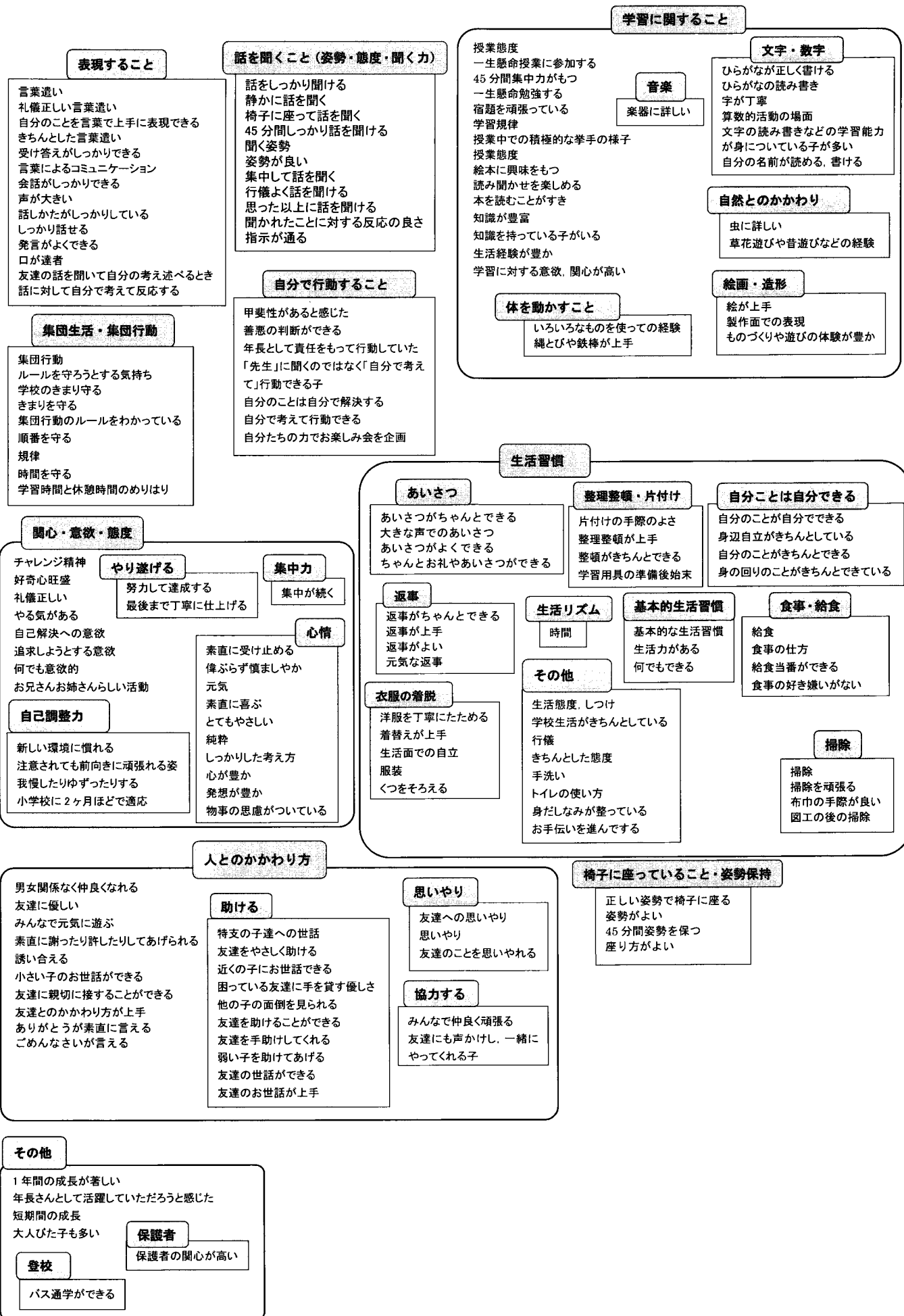
協力すること
 目標に対して気持ちをひとつにして協力する
 団結力がある
 一緒に問題を解決しようとする
 友達と連携して行事に参加する
 目標に向かってみんなで取り組む力
 自分達で相談して決める
 お互いを認め合う気持ち
 友達と協力して最後までやり遂げる
 友達と役割分担をして、目標にむかう
 友達と協力して物事を進めていく
 友達と意見を出し合って物事に臨む
 目標を持って友達と一緒に挑戦しやり遂げようとする

その他

登校

徒歩での登校

資料 8 3-(8-2) (小) 具体的にどのようなことがありますか。お書きください
(これまでにかかった新1年生で、学習や生活上、感心したことはありますか)



資料9 3-(9-2) (幼) 具体的にどのようなことがありますか。お書きください
(貴園を卒園した新1年生が、学習や生活上、困るだろうことはありますか)

話を聞くこと

人の話をしっかり聞けない
話を聞く姿勢
話を聞く態度
最後まで話を聞く
45分間授業を聞けるか
話を聞いて理解できるか
目を見て話を聞いていない
集中して話を聞けるか
話を聞いて内容を理解する
集団の中で落ち着いて話を聞くこと

椅子に座っていること

45分間椅子に座って授業を受けること
落ち着いて座ってられない
授業中椅子にしっかり座り続けられるか
45分4限、集中して座ってられない
椅子に座る時間の長さ
椅子の座り方
じっと座って授業を受けられるか
静かに座って授業に参加できるか
姿勢の維持ができない

学習に関すること

ひらがなが読めない
文字、数字の理解の差
学習理解力の差
授業についていけない
学習を理解して取り組めるか
早期教育されている園出身の子どもの差
一斉で受ける授業についていけない
発達がゆっくりの子が小学校の生活や学習についていけない
授業中、先生の話を理解できない
全体の指示の理解
集団での勉強

幼小の違い

小学校教諭への不安

保育士と学校教諭の思いの違い
小学校では学習面で個人を判断される先生がいる
個性や内面を見られる先生が少ない
子どもの気持ちを受け止めて対応してくれるか
一人一人に応じて授業を進めていない
職員の対応の仕方の違い
教師との信頼関係 担任との信頼関係

登校

泣かずに、嫌がらずに登校できるか
一人での登下校
登園時の母親との分離
先生に怒られて学校に行きたがらない

人数の違い

クラスの人数の多さに対する戸惑い
大きな集団に圧倒されてしまう

特別な支援が必要な幼児への対応

特別支援が必要な子への支援
集団行動が苦手な子への対応
教育相談を受けている子が、学習面でついていけないか
支援が必要な子が学習中心の生活の中でやっていけないか
支援が必要な子の友達とのかかわり
個別に支援していた子が他児と同じように生活していいのか
支援児に対する配慮が幼稚園に比べて少ないから
外国籍の子どもに対する言葉や食事

施設のの違い

施設のの違いに戸惑う

生活の違い

時間割ごとの授業についていけないか
生活の違いのギャップ
生活になじんでいけないか
学校生活に順応できるか
休み時間の過ごし方
先生の目がとどかない時の行動

表現すること

自分の思いを表現できない
自分の思いや考えを相手に伝えることができるか
思っていることをはっきりと伝えることができるか
困っていることを自分から話すことができるか
自分の思いや考えを話す
自分の考え、感情、要求を言葉で伝える
自分の思いを伝える
困ったことを話すことができない
先生に対する言葉遣い
自分の思いをはっきり相手に伝えることができない
困っていることを素直に言葉で伝えることができるか
自分の気持ちを伝えること
自己主張(意思表示)ができない
助けを求めない
発言する

集団生活・集団行動

集団の流れについていけないか
行動がマイペースで集団行動に遅れる
集団行動が苦手な子が周りと同じようにできるか
話を聞くのが得意でない子が周りと同じようにできるか
みんなと同じペースで行動できるか
団体行動
行動についていけない
わからないまま流れていく(集団にまぎれてしまう)
時間内に行動する
集団生活になじめるか
集団の中で話を聞いて、行動する
集団生活の決まりやルール

生活習慣

食事・給食

食事のマナー
給食を時間内に食べ終わられるか
給食を食べられるか
食事の好き嫌い

トイレ

和式のトイレに対応できるか
排泄の自立
設備の違い(トイレ)
休み時間に行き排泄を行えるか

忘れ物

忘れ物が多い
提出物

その他

生活習慣全般
挨拶
家庭環境

持ち物等の始末・準備

所持品の準備
自分で身のまわりのことをすること
身のまわりの用意に時間がかかる
休み時間内に次の授業の準備をする
衣服の着脱に時間がかかる

生活リズム

生活習慣の乱れている家庭
朝食を食べずに遅刻して通っている
登園時間が遅い子が、学校生活に慣れるまで大変
自分で生活を組み立てること

人とのかかわり

友達とのかかわりが苦手
友達とのコミュニケーション
コミュニケーション能力が弱い所がある
積極的に友達とかかわろうとしない
友達とのトラブル
トラブルを自分達で解決しようとする
休み時間に子ども達だけで仲良く遊べるか
人の思いを受け入れられない
自分の思いを押し通そうとする
社会性が育っていない
協調性が育っていない

関心・意欲・態度

落ち着きのなさ

落ち着いて授業を受ける
落ち着きがなく集中力に欠ける
ふざけてしまう
静かにできない
じっとしてられない

物事への取り組み方

興味あることにしか集中しない
興味がないことはしたまらない
積極的に物事に取り組めるか

その他

情緒の安定
自信がない
気持ちが追いつかない子
性格的に幼い子
善悪の判断
授業中私語を慎む

自己調整力

自分の気持ちをコントロールする
切り替えがうまくできない
自己中心的な言動
我慢する力

集中力

集中力がない
集中時間が短い子がいる
授業中、最後まで集中して参加する
授業に集中して取り組む
45分間集中して取り組めるか

自分で行動すること

自分で考えて動くこと
先生の話聞いて自分で考えて行動する
話を理解して行動に移すことができるのか
自分の判断で行動し失敗する
話を聞いて行動できない
話を聞いて、自分で考えて行動する
人の話を聞き、理解して動くことができるか

その他

養護の面
大人の想定している答えを探そうとする
困るだろうと思う子がいる
先生に怒られて学校に行きたがらない

資料10 3-(9-2) (小) 具体的にどのようなことがありますか。お書きください
(新1年生で、学習や生活上、指導に困ることはありますか)

学習に関すること

話を聞くこと

指示が聞けない
話をしっかり聞けない
座って話を聞くこと
落ち着いて話を聞けないこと
担任等の話を自分で聞こうとしない
話が通じにくい
話を聞く態度
友達や教師の話を聞こうとする意識
指導しても指導が入らない
座って集中して聞くことが難しい子がいる
指導がなかなか徹底しない
聞く力の個人差が大きい

椅子に座っていること

椅子の座り方
座ること
座っていることが困難
座って学習できない
45分座れない
集中して座ってられない
椅子に座れない(椅子に足をかける)
きちんと座ってられない
姿勢の崩れ
授業中の立ち歩き
立ち歩きをする
待てずに動き出す

ひらがなの読み書き
学習面(文字の理解、意欲)
自分の名前が書けない、読めない
数の概念がない
絵(人間)が書けない
学習が困難
学習の習得の能力差がある
文字指導(就学前の経験の差が大きい、揃えた指導が難しい)
文字指導(就学前に学習に間違った覚え方をしている。矯正しづらい)
学習面(ひらがな、計算等、本人は理解しているつもりになっている)
鉛筆の持ち方
授業規律に乏しい

表現すること

自分の気持ちを伝えられない
自分の気持ちを言葉で言えない
話せない(自分の気持ち)
話せない(困っている理由など)
自分の体調や気持ちを話せない
話すことが苦手
言葉が乏しい
言葉づかい

子どもや保護者へのかかわり・対応

伝え方

キレやすい子への対応
文字に触れていない(読み書き)子への指導が大変
どの言葉で伝えればよいのかの判断が難しい
どのような働きかけを行えば理解できるか
言葉、語句が限られているので説明が難しい
1年生に伝わる話し方は

保護者対応

保護者対応
保護者の協力が得られない時
親離れ、子離れ
母子分離
過保護な保護者がある
保護者の基本的な生活習慣
家庭力のばらつきが大きい
家庭生活の乱れなど
親のモラルのばらつき
保護者の意識
家庭学習への協力が難しい
親の生活の変化(子育ての関心が二極化)
家庭生活の乱れ
親の生活習慣が子に大きく影響

特別な支援が必要な幼児への対応

特別な支援児童への指導のやり方

個別のかかわり

個別の課題に個別に支援するとき
個別の支援がないと行動できない子が増えてきている
個に応じた丁寧な対応が必要
個別支援が必要な子に対して(約束やルール、情緒不安定)
親離れができない子への対応

集団生活・集団行動

集団行動ができない(マイペース)
集団生活になじめない
集団での活動に入れない
集団生活やルールについていけない
集団生活のルールが守れない
集団への適応できない
生活ルール
決まりを守ろうとする
授業と休み時間の気持ちの切り替えができていない
学校ルールを受け付けられない
きまりが守れない
自分が当たり前と思われるルールを守れない
周りの状況などがつかめない

生活習慣

基本的な生活習慣
生活指導
生活力の未熟
生活上マナー

持ち物の始末・準備

道具の用意
片付け
身のまわりの整理
ものを落とす
身辺整理

着替え

着替えが遅い
洋服をためない

トイレ

トイレの使い方(流さない)
和式トイレの使い方
トイレ指導
お尻がふけない
トイレができない
和式トイレの使い方
排便の失敗
トイレのマナー
トイレトペーパーの使い方
トイレががまんできない
トイレの後手を洗わない

食事・給食

食事のマナー
食べることが遅い
給食指導(まったく食べられない)
食べ物の好き嫌い
給食時の偏食
給食でトレーを持ってない
給食指導
箸の持ち方

自分のことは自分でする

自分でしてほしいと思うことが自分でできない
自分のことが自分でできない
生活面(身の回りの事ができない)

生活リズム

生活のリズムが定着しない
定刻に起きて朝食をとる
就寝時間が遅い
朝の準備が遅い
登校時間に遅れる
時間内に行動できない

あいさつ・返事

返事やあいさつ
あいさつをなかなか返せない

その他

基本的なしつけ面
髪形などがしっかりしていない
鏡面で当たりの前かができていない
はさみ・のりづけなど(手先を使うこと)
親の生活の変化(生活習慣)
家庭生活(朝顔を洗わない、歯みがきをしない)

関心意欲態度

物事への取り組み方

やりたくないことはやらない
できる、できないにこだわり、やる前から拒否的態度をとる
興味関心がないことを拒否する
親や周囲にすべて頼る
課題への取り組みが遅い

個人差

個人差が大きい
個性
やることに差がある
意欲の差が激しい集団

登校しぶり

すききらいによる登校しぶり
保護者同伴でないと登校できない
学年後半になると教室に入れない

集中力

集中力が続かない
集中がもたず歩いて歩く
継続力
学習にずっと集中できない

自己調整力

自分の行動をコントロールできない
自分の感情のコントロールができない
わがまま
自分勝手
がまんができない
自己中心的
自分の世界に入り受け入れれない

その他

自信が少ない
気力がない
自立心の薄い
規範意識に乏しい
気持ちが弱い子もいる

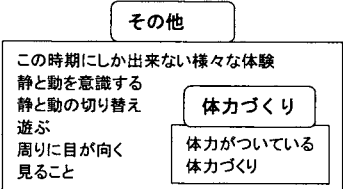
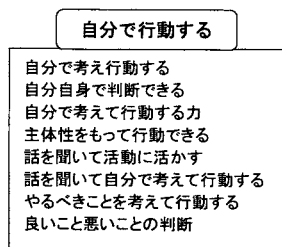
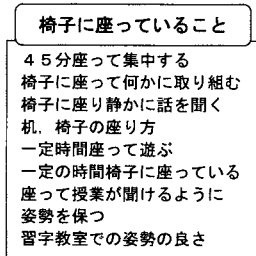
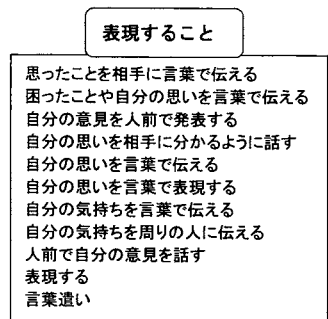
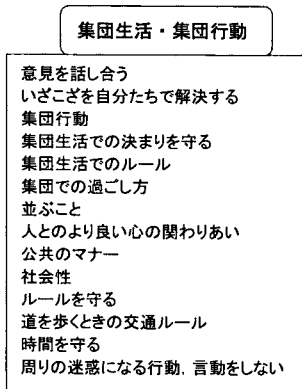
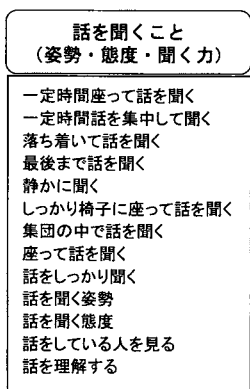
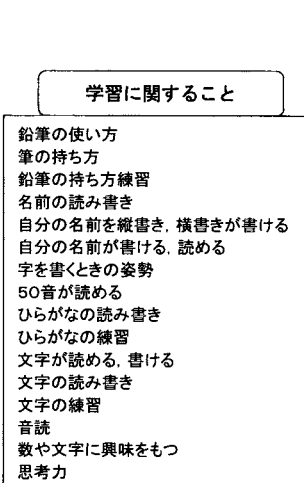
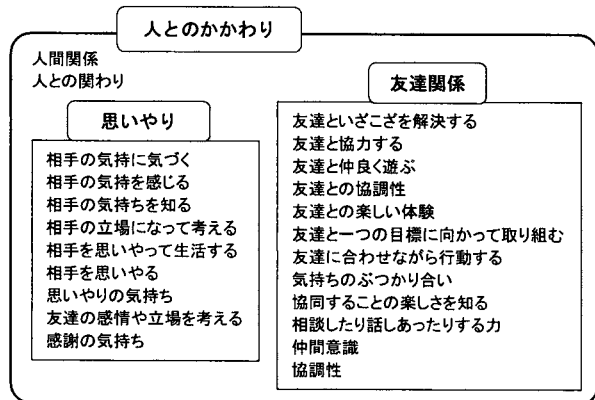
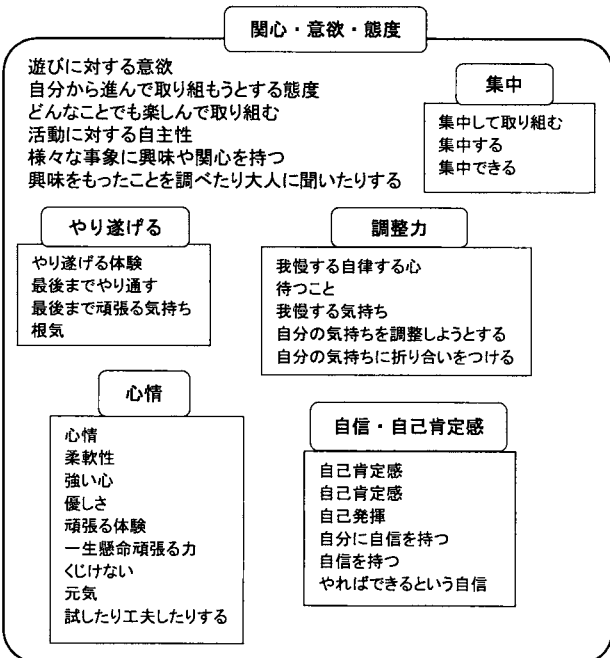
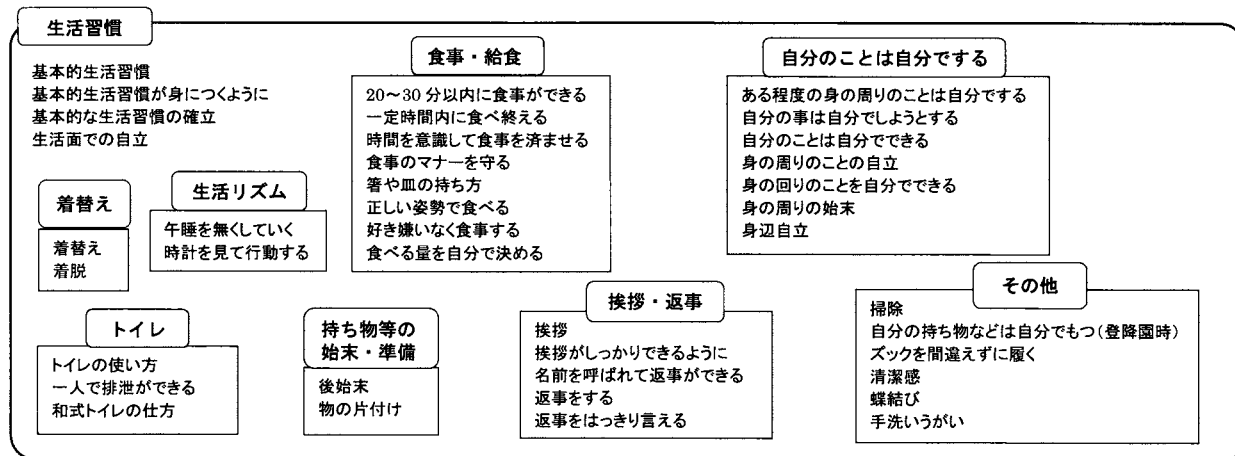
人とのかかわり

友達とのトラブルが多い
友だちとのかかわり
コミュニケーションのとり方が少し貧弱
人間関係をつくる力が弱い
明るい気持ちで正直に人と接する
すぐに手が出る
他人のことを考えずに行動する
周りに対する暴言暴力

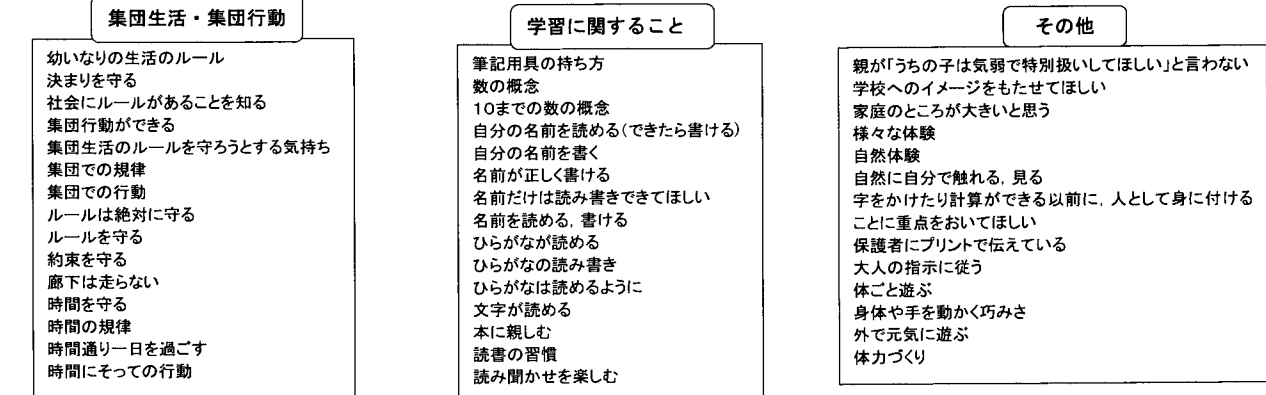
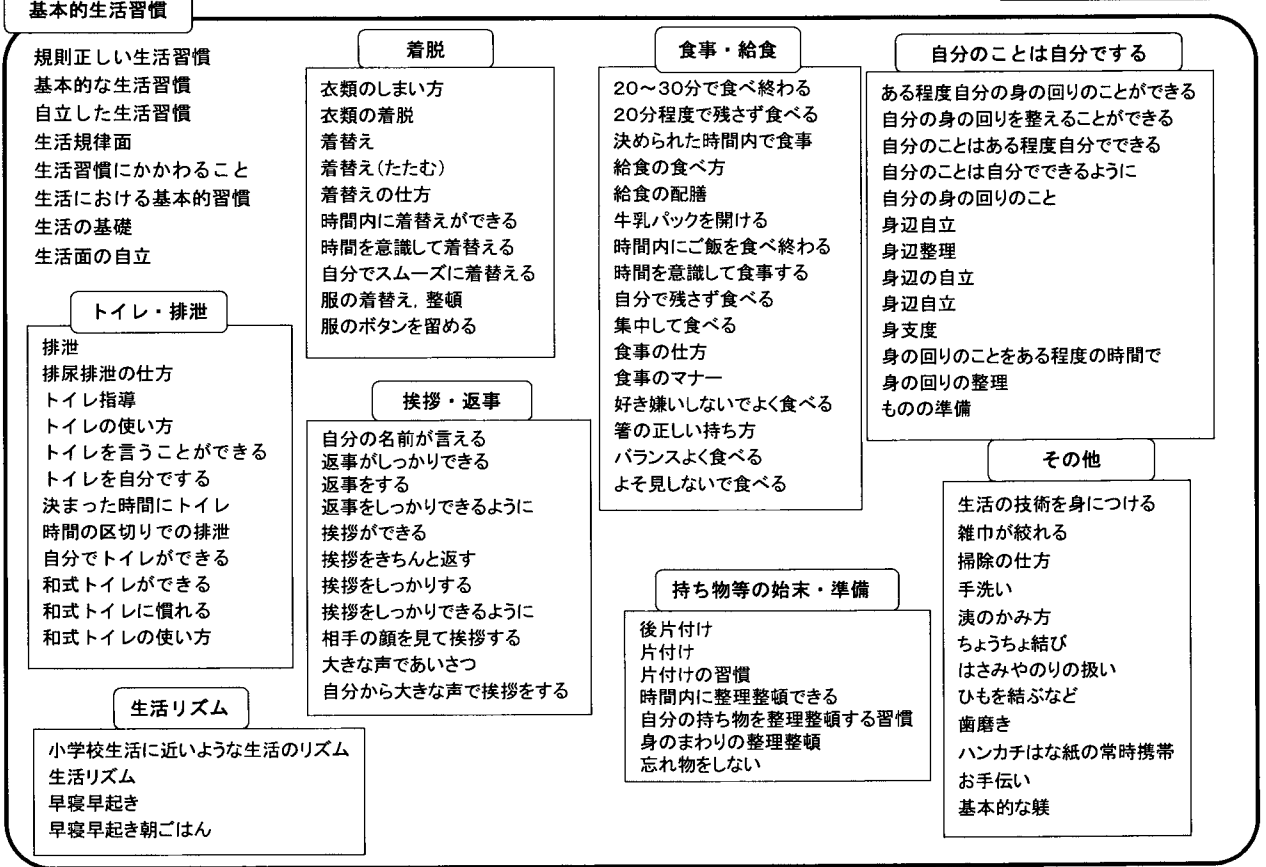
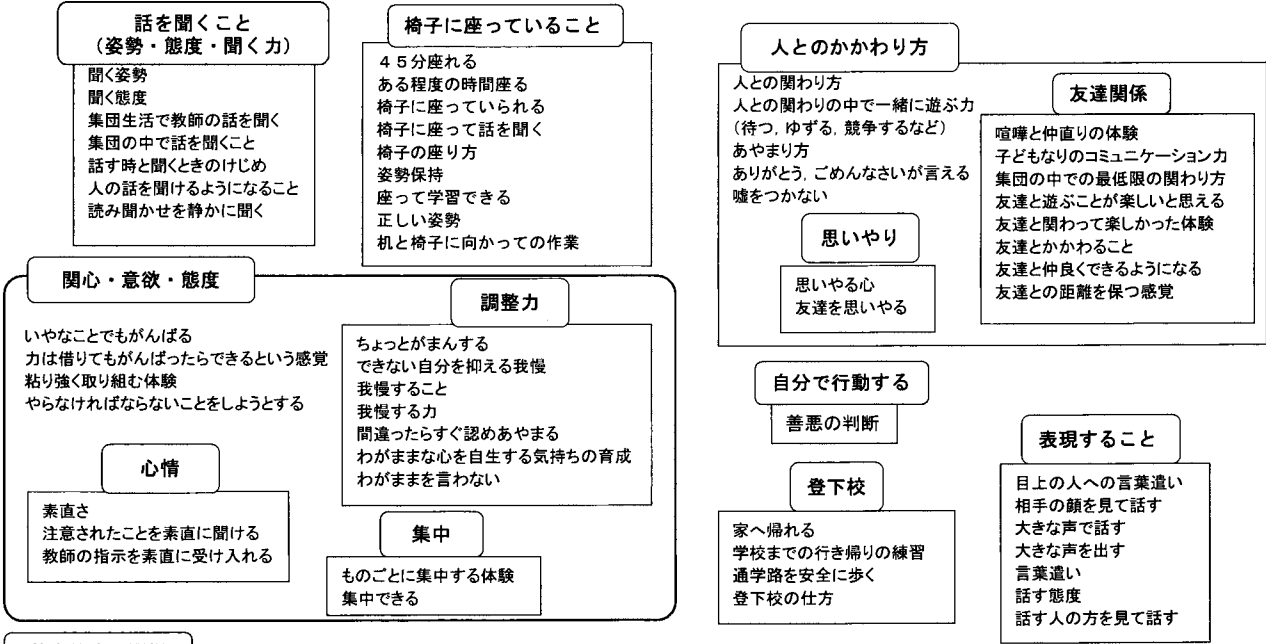
その他

小1プロブレムと同じ
私語が多くやめられない
入園式での行儀
経験が不足している
並ぶこと
年々幼稚化
小学校環境になじむまでに時間のかかる
幼保との指導の違い
係活動

資料 1 1 3-(10-2) (幼) 具体的にどのようなことがありますか。お書きください
(貴園において、就学までに幼児が身につけられるように意識していることはありますか)



資料12 3-(10-2) (小) 具体的にどのようなことがありますか。お書きください
(新1年生に、就学時まで身に付けておいてほしいことはありますか)



幼児期の教育と児童期の教育との連携に関するアンケート

金沢大学附属幼稚園

以下の質問について当てはまる項目の番号を○で囲むか、() 内に記入してください。

1. ご自身について

(1) ご自身の職名を教えてください。

1. 園長 2. 副園長 3. 主任教諭 4. 教諭 5. 主任保育士 6. 保育士 7. その他
()

(2) 在職年数を教えてください。

幼稚園 () 年 保育所 (園) () 年 認定こども園 () 年 その他 () 年

(3) 現在担任 (担当) している学年に○をつけてください。

幼稚園 (満3歳児 年少 年中 年長) 保育所 (園) (3歳未満児 3歳児 4歳児 5歳児)
認定こども園 (3歳未満児 3歳児 4歳児 5歳児)

(4) 今までに在職経験のある園種または校種に○をつけてください。[複数回答可]

1. 幼稚園 2. 保育所 3. 認定こども園 4. 小学校 5. 中学校 6. 特別支援学校 7. その他 ()

(5) 今までに担任 (担当) した学年を教えてください。[複数回答可]

幼稚園 (満3歳児 年少 年中 年長) 保育所 (園) (3歳未満児 3歳児 4歳児 5歳児)
認定こども園 (3歳未満児 3歳児 4歳児 5歳児)
小学校 (1年 2年 3年 4年 5年 6年 特別支援) 中学校 (1年 2年 3年 特別支援)
特別支援学校 (幼稚部 小学部 中学部 高等部) その他 ()

2. 児童期の教育について

(1) 児童期の教育 (小学校教育) について知りたいと思ったことはありますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. とてもある 5. 分からない

(2) 小学校の公開授業等に参加しようと思ったことはありますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. とてもある 5. 分からない

(3) 幼児期の体験は、小学校以上での学習や生活に役立つと思いますか。

1. 全く役立たない 2. あまり役立たない 3. 少し役立つ 4. とても役立つ 5. 分からない
-

(4) 今までに「スタートカリキュラム」という言葉を聞いたことがありますか。

1. ある 2. ない
-

3. 幼小連携について

(1) 幼児期の教育（就学前教育）と小学校教育との連携（以下、幼小連携と表記）に興味はありますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. とてもある 5. 分からない
-

(2) 幼小連携は必要だと思いますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. とてもある 5. 分からない
-

(3-1) 幼小連携のために、ご自身の園では取り組みを行っていますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. よくある 5. 分からない
-

(3-2) (3-1) で 3. 少しある 4. よくある と答えた方にお聞きします。

ご自身の園では、具体的にどのような取り組みをしていますか。【複数回答可】

- | | | |
|-------------------------|---------------------|--------------------|
| 1. 年長児を迎える会への参加 | 2. 昼食交流等 | 3. 小学校の生活科での交流 |
| 4. 小学校の他教科での交流 | 5. 一緒に遊ぶ | 6. 幼児の小学校授業見学、体験 |
| 7. 職員の小学校授業見学、体験 | 8. 職員同士の交流 | 9. 入学前、就学前の幼児の情報交換 |
| 10. 小学校入学を想定したカリキュラムの編成 | 11. 幼児の小学校行事への参観、参加 | |
| 12. その他（ | | ） |
-

(4-1) 幼小連携時に行う取り組みが、新1年生の入学時に意味のあるものだと感じますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. よくある 5. 分からない
-

(4-2) 上記の理由をお書きください。

(5) 以下に挙げたもののうち、幼小連携の取り組みとして意味のあると思うものに○をつけてください。

[複数回答可]

- | | | |
|-------------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 年長児を迎える会への参加 | 2. 昼食交流等 | 3. 小学校の生活科での交流 |
| 4. 小学校の他教科での交流 | 5. 一緒に遊ぶ | 6. 幼児の小学校授業見学, 体験 |
| 7. 職員の小学校授業見学, 体験 | 8. 職員同士の交流 | 9. 入学前, 就学前の幼児の情報交換 |
| 10. 小学校入学を想定したカリキュラムの編成 | 11. 幼児の学校行事への参観, 参加 | |
| 12. その他 () | | |

(6) 卒園 (修了) 時の幼児に対するイメージをお書きください。

(7-1) 貴園の年長児の進学先で、小1プロブレムが生じていると聞いたことがありますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. よくある 5. 分からない

(7-2) (7-1) で 3. 少しある 4. よくある と答えた方にお聞きします。

具体的にどのようなことがありましたか。お書きください。

(7-3) (7-1) で 3. 少しある 4. よくある と答えた方にお聞きします。

小1プロブレムが生じる主な理由は、以下のどれだと考えますか。

1. 幼児期の教育の問題 2. 入学後の教育の問題 3. 家庭や地域の問題
4. その他 () 5. 分からない

(8-1) 貴園を卒園した新1年生が、学習や生活上、自信をもって取り組めることはありますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. よくある 5. 分からない

(8-2) (8-1) で 3. 少しある 4. よくある と答えた方にお聞きします。

具体的にどのようなことがありますか。お書きください。

裏面もご回答ください。

(9-1) 貴園を卒園した新1年生が、学習や生活上、困るだろうと思うことはありますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. よくある 5. 分からない
-

(9-2) (9-1) で 3. 少しある 4. よくある と答えた方にお聞きします。

具体的にどのようなことがありますか。お書きください。

(10-1) 貴園において、就学までに幼児が身につけられるように意識していることはありますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. とてもある 5. 分からない
-

(10-2) (10-1) で 3. 少しある 4. とてもある と答えた方にお聞きします。

具体的にどのようなことがありますか。お書きください。

(10-3) (10-1) で 1. 全くない 2. あまりない と答えた方にお聞きします。

その理由をお書きください。

(11) 小学校は、幼児期の教育で培った力を活かして、学習活動あるいは学校生活を組み立てていると思いますか。

1. 全く思わない 2. あまり思わない 3. 少し思う 4. とても思う 5. 分からない
-

(12) 小学校では、入学時に子どもの実態に合わせた授業形態、カリキュラム編成を行っていると思いますか。

1. 全くしていない 2. どちらかといえばしていない 3. どちらかといえばしている
4. よくしている 5. 分からない
-

4. 小学校における教育との連携に関して、期待することや質問、感想など、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

小学校教育と幼児期の教育との連携に関するアンケート

金沢大学附属幼稚園

以下の質問について当てはまる項目の番号を○で囲むか、() 内に記入してください。

1. ご自身について

(1) ご自身の職名を教えてください。

1. 校長 2. 副校長 3. 教頭 4. 主幹教諭 5. 指導教諭 6. 教諭 7. 養護教諭 8. その他
()
-

(2) 教職経験年数を教えてください。

() 年

(3) 現在担任している学年を教えてください。

() 学年

(4) 今までに教職経験のある校種に○をつけてください。【複数回答可】

1. 幼稚園・保育所 2. 小学校 3. 中学校 4. 高等学校 5. 特別支援学校 6. その他 ()
-

(5) 今までに担任した学年を教えてください。【複数回答可】

幼稚園 (年少 年中 年長) 保育所(園) (3歳未満児 3歳児 4歳児 5歳児)
小学校 (1年 2年 3年 4年 5年 6年 特別支援) 中学校 (1年 2年 3年 特別支援)
高等学校 (1年 2年 3年) 特別支援学校 (幼稚部 小学部 中学部 高等部) その他
()

2. 幼児期の教育について

(1) 幼児期の教育について知りたいと思ったことはありますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. とてもある 5. 分からない
-

(2) 幼稚園や保育所の公開保育に参加しようと思ったことはありますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. とてもある 5. 分からない
-

(3) 幼児期の体験は、小学校以上での学習や生活に役立つと思いますか。

1. 全く役立たない 2. あまり役立たない 3. 少し役立つ 4. とても役立つ 5. 分からない
-

(4) 今までに『学びの芽生え』という言葉聞いたことがありますか。

1. ある 2. ない
-

3. 幼小連携について

(1) 幼児期の教育（就学前教育）と小学校教育との連携（以下、幼小連携と表記）に興味はありますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. とてもある 5. 分からない
-

(2) 幼小連携は必要だと思いますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. とてもある 5. 分からない
-

(3-1) 幼小連携のために、ご自身の学校では取り組みを行っていますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. よくある 5. 分からない
-

(3-2) (3-1) で 3. 少しある 4. よくある と答えた方にお聞きします。

ご自身の学校では、具体的にどのような取り組みをしていますか。【複数回答可】

1. 年長児を迎える会 2. 昼食交流等 3. 生活科での交流 4. 他教科での交流
5. 一緒に遊ぶ 6. 児童の幼稚園・保育所見学, 体験 7. 職員の幼稚園・保育所見学, 体験
8. 職員同士の交流 9. 入学前, 就学前の幼児の情報交換
10. 幼児期の教育との接続を想定したカリキュラムの編成 11. 幼児の小学校行事への参観, 参加
12. その他 ()
-

(4-1) 幼小連携時に行う取り組みが、新1年生の入学時に意味のあるものだと感じますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. よくある 5. 分からない
-

(4-2) 上記の理由をお書きください。

(5) 以下に挙げたもののうち、幼小連携の取り組みとして意味のあると思うものに○をつけてください。

【複数回答可】

1. 年長児を迎える会 2. 昼食交流等 3. 生活科での交流 4. 他教科での交流
5. 一緒に遊ぶ 6. 児童の幼稚園・保育所見学, 体験 7. 職員の幼稚園・保育所見学, 体験
8. 職員同士の交流 9. 入学前, 就学前の幼児の情報交換
10. 幼児期の教育との接続を想定したカリキュラムの編成 11. 幼児の小学校行事への参観, 参加
12. その他 ()
-

(10-1) 新1年生に、就学時まで身につけておいてほしいことがありますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. とてもある 5. 分からない
-

(10-2) (10-1) で 3. 少しある 4. とてもある と答えた方にお聞きします。

具体的にどのようなことがありますか。お書きください。

(10-3) (10-1) で 1. 全くない 2. あまりない と答えた方にお聞きします。

その理由をお書きください。

(11) 幼児期の教育で培った力を活かして、学習活動あるいは学校生活を組み立てていますか。

1. 全くない 2. あまりない 3. 少しある 4. よくある 5. 分からない
-

(12) ご自身の小学校では、入学時に、子どもの実態に合わせた授業形態、カリキュラム編成を行っていますか。

1. 全くしていない 2. どちらかといえばしていない 3. どちらかといえばしている
4. よくしている 5. 分からない
-

4. 幼児期の教育との連携に関して、期待することや質問、感想など、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。